

登録団体主催の講座等を側面から支援！「ちばさぼセミナー」企画募集のお知らせ

「ちばさぼセミナー」とは、登録団体が千葉市民活動支援センターを会場にして開催する講座や相談会などを、当センターが支援する枠組みです。今年度は、パソコンの操作やオンラインの活用など、ICT（情報通信技術）に関する企画を対象とします。具体的な支援内容は、当センターのホームページや「ちばさぼ通信」での紹介、チラシの通信への折り込みなどで、すべて無料。他にも会場の優先予約や、企画内容への助言もいたします。詳しい募集チラシもございますが、下記に応募要件等の概要を記します。まずはお問合せからでも、お気軽にどうぞ。

○主な応募要件

- ・ICT（情報通信技術）に関する講座、相談会、研修等
- ・広く市民活動団体や市民を対象とする内容であること
- ・認定された事業は中止をせず、必ず実施すること

○開催期間・回数・会場

- ・2022年2月末までに開催するもの
- ・連続講座や定期的な相談会も可（※回数制限あり）
- ・会場を予約できる時間は、1回あたり最長4時間まで
- ・利用できる会場は、会議室または談話室

○応募方法・締切など

所定の応募用紙を、8月31日（火）までに当センター宛てご提出ください。応募があり次第順次審査を行い、応募受理後一週間程度を目安に、審査結果をご連絡します。審査を通過した団体とセンターとで協議を行い、実施内容を調整・確定させた上で、「ちばさぼセミナー」と認定します。認定数は3団体程度を予定しています。応募や認定状況によっては追加募集を行う場合もありますが、応募は1団体1回（1企画）のみとします。

千葉市主催

■「クラウドファンディングセミナー・ワークショップ」

クラウドファンディング（インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達すること、以下CF）について学ぶセミナーとワークショップが開催されます。CFは市民活動団体の新たな資金調達手法としても注目されています。これを機にCFにチャレンジしてみませんか。

■セミナー（オンライン開催、各回同内容）

日時▶ 8/28（土）、8/29（日）いずれも14:00～16:00

内容▶ CFの基礎知識、活用事例、起案者の体験談など

定員▶ 各回申込先着80名

■ワークショップ（オンライン開催、各回同内容）

日時▶ 9/11（土）、9/12（日）いずれも14:00～16:00

内容▶ CFで実現したいプロジェクトの企画検討など

定員▶ 各回申込先着20名



◇お問合せ

千葉市シェアリングエコノミー推進事業事務局
TEL:080-3714-0043 E-mail:info@share-chiba.com

※当センターは、主に広報面で協力をしています。

生涯現役応援センター主催

■「シニアから始めるボランティア相談会」

シニアが活躍しているボランティア団体を招き、活動内容の紹介と個別相談を行うセミナーが開催されます。当センターの他、複数のボランティア支援機関も参加し、説明と相談対応をします。「ボランティアを始めるきっかけを探している」といったシニアの方びっりの企画です。

日時▶ 8/18（水）13:00～16:00

会場▶ 千葉市文化センター9F会議室

定員▶ 申込先着30名

【活動紹介を行う団体】

- ・ここから☆ビーチクリーン隊
- ・NPO法人ちば環境情報センター
- ・朗読ボランティア よみよみの会
- ・NPO法人アフタースクール
- ・千葉みらい響の杜学園とともに育つ会



◇お問合せ

千葉市生涯現役応援センター TEL:043-256-4510

※当センターは、活動紹介団体の選定に協力をしました。

ミニコラム

ちばさぼの風 vol.44

“喪失”と“回復”～市民活動交流サロンでの気づき～

一口に市民活動団体と言っても、活動内容はもちろん、運営体制もさまざま、有給の専従職員を雇用している団体もあれば、全員がボランティアでそれぞれが空いている時間に活動をしている、という団体もあります。「市民活動は楽しくなければ続かない」と言う人がいます。私もそう感じたことがありますし、活動そのものに限らず、人との出会いやふれあいが楽しくて市民活動の世界に身を置いているという側面もあります。

一方で、私たちの暮らしを支え、いのちを守る活動をしている団体は、楽しく活動をするという発想自体がそぐわないのではないか？という思いももっていました。5月22日に開催した市民活動交流サロン（part3）では、「いのち・暮らし」に関わる活動をしている4団体からゲストをお招きし、自分としては“楽しい”という言葉を封印して活動紹介を聴き、対談をさせていただきました。

そこで“喪失”と“回復”というキーワードを得ました。コロナ禍で仕事を失ったり、住まいを追い出されたり、また大切な人を亡くしたりといったことは、誰にでも起こり得ます。事故などで身体の機能を失うこともあるかもしれません。こうしたコト・モノ・ココロなどの“喪失”は、自身だけで“回復”することは難しいでしょう。そのサポートのため、ゲストの4団体の他にも多くの団体が活動をしています。

人は誰しも不安のない暮らしを望んでいるでしょう。不安がなくなり（小さくなり）、初めて物事を“楽しむ”ことができるのだと思います。市民活動交流サロンの動画は、当センターのfacebookページで公開しています。（右のコードからもアクセスできます。）ぜひ一人でも多くの方にご視聴いただくと幸いです。（は）

